

受付番号

2023-8

許可番号

大歯医倫 第 111270-0 号

研究課題名

脳可塑性変化に基づく口腔リハビリテーション効果の解析

研究責任者

島田 明子

申請者

島田 明子

研究終了日

2026年12月31日

所属

医療保健学部口腔保健学科

所属

医療保健学部口腔保健学科

職名

教授

職名

教授

申請の概要

本研究は、筋機能訓練により生じる中枢の神経可塑性変化と末梢の運動機能改善度の総合的な分析により、現在標準化されていない口腔機能低下症高齢者に対する口腔リハビリテーション処方 の確立を目指す。低舌圧・舌口唇運動機能低下高齢者を対象に、経頭蓋磁気刺激（TMS）に対する舌筋運動誘発電位（MEP）の振幅などの神経可塑性変化パラメータと舌圧などの口腔機能パラメータを筋機能訓練介入前後で総合的に分析し、筋機能訓練の効果および持続性を検討する。脳科学的アプローチによる口腔機能評価により有効な口腔リハ処方の標準化が実現すれば、高齢者の“口から食べる機能”の維持・回復、全身のフレイル予防、そして健康長寿延伸への寄与だけでなく、多職種で実行可能かつサステナブルな口腔リハビリテーションの普及の一助になると思考する。